



かまスタ☆ファンズ	第21号
<ul style="list-style-type: none"> ・2012 ルーキー自己採点! ・監督の部屋サードシーズンVol.3 ・ファイターズ情報 鎌ヶ谷発! ニュー・ヒーロー谷口選手 8月度月間MVP ・2012年ファイターズ鎌ヶ谷の会 活動報告 	
発行/ファイターズ鎌ヶ谷の会 広報部会 〒273-0118 千葉県鎌ヶ谷市中沢459 TEL. 047-446-5586	

2012ルーキー自己採点!

入団当初、鎌スタ☆ファンズのアンケートに書いていただいた目標とプレーの中から生まれた今季の課題を、松本、石川、近藤、上沢の高卒カルテット、ルーキー4選手が自分で厳しく採点。さてさて、あなたが応援しているあの選手は何点をつけたのでしょうか?



石川慎吾選手
(背番号49・外野手)

- 1年目の目標:ケガなく過ごす
「(2月のキャンプ直前に)即行ケガしたので、できていないですね。目標達成できてない(笑)」
- プレーを続けた中での課題と取り組み
—前回、インタビュー(鎌スタ☆ファンズ第19号)をさせていだいたときに、1打席勝負で戸惑っているという話もありましたが、打撃ではその後どうですか?

1打席、1打席が勝負というのは変わらないんですが、1試合で数回打席に立てると、打席の中での修正というのはできていると思います。
—それでは守備については?
(守備に限らず)すべてにおいて心配ですけど、納得いったプレーもあるけど、課題を克服したら、また新しい課題ができるので、毎日が楽しいというか、楽しく取り組んでいます。

- 自己採点:20点(これは厳しい! : by スタッフ)
「まだまだできるって自分を信じて20点。もっともっと結果を出せる、ほんま、まだまだやなあと思わないんで」

4選手の中では取り組むところがハッキリしているのでいいですね。ある程度、守れるようになった。足りないところをしっかりと理解して練習に取り組んでいる。



上沢直之選手
(背番号63・投手)

- 1年目の目標:プロで通用する体作り
「入団したころよりは強くなってきていると思います。周りからも言われましたし、自分でもしっかりできてきていると思います」

●プレーを続けた中での課題と取り組み
—今季はこれまで7試合(9月5日現在)に登板しています。ここまでで、どんなことが課題と感じますか?
力強いストレートを長いイニング投げるのが、まだできていないんで、そういうストレートを継続して投げられるようにしたいと思っています。

- 自己採点:70点
「まだ結果は出せていませんけど、課題に向かって、やることはちゃんとやっているんで、そういう意味では70点くらいです」

結果は気にしていないので、もう少し、4~5イニングを投げられるようにがんばってほしい。体作りという点ではできてきました。



松本剛選手
(背番号12・内野手)

- 1年目の目標:基礎をしっかりと作る
「うまくいかない事もたくさんありましたが、最初のころに比べれば、やっぱり少しずつは自分の中でできてきているのかなぁと思っています」

●プレーを続けた中での課題と取り組み
—ルーキーながら規定打席数に到達しましたね。打撃についての課題は?
バッティングに関しては形が課題というか、癖があるんでそれを直しつつ、だけど試合になったらとにかく向かっていく気持ちでやれ」と大村コーチに言われています。試合で向かって行って、見えてきた課題をシーズン中盤からは、ただ打ちに行くだけでなく考えながら打席に立っています。

- 守備の方ではどうですか?
守備では課題がたくさんあるんですけど、ひとつずつクリアしていっています。一気に良くはならないと思うんで、少しずつうまくなっていければいいのかなと。

- 自己採点:50点
「意識しているので大きなケガもなく、基礎作りという意味ではできていると思うんですが、むずかしいですね…。もっとできると思っていますんで、50点くらいですかね」

難しいことに挑戦していますが、がんばっています。出場試合数を見れば合格点。バッティングでもう一皮向けるのを期待しています。

五十嵐監督の言葉

ピッチャーを生かしてゲームを作れるようにはならなくてはならない。ディフェンスの要としてがんばってほしい。求められているものも高いです。



近藤健介選手
(背番号54・捕手)

- 1年目の目標:ファームのレギュラーに定着する
「(一軍にも上げてもらいましたが)技術的には一軍に上がれるほど、いってないんで、経験として上げてもらったということで、良い経験ができました。だけどファームでもまだまだ、思うようにできていないんで、がんばります」

●プレーを続けた中での課題と取り組み
—一軍でのプレーを経験して、ファームとはどのようなところで具体的な違いを感じましたか?
やっぱりスピード感です。捕ってからの速さとか、盗塁のスタートも良いし、(送球を)ショートの人に投げたんじゃアウトにならないんで、膝の高さにちゃんと投げるとか、そういうところをしっかりとやらなくてはならないと感じました。

- 自己採点:60点
「60点くらいですね。まだ思うようにできないこともたくさんありますから」

【ハミダシ】 今回の自己採点、いかがですか?最初は4選手とも「何を聞かれるの?」と緊張した面持ちでしたが、今季で経験したことで自信を深めたのでしょう。最後には4人とも笑顔で答えてくれました。石川選手だけは最初の質問ですぐに笑顔になってしまいました。

監督の部屋 Vol.3

題字：五十嵐信一ファーム監督



鎌ヶ谷ヤングファイターズ、今季の戦いも残すところわずか。今季は監督に今季の総括をお願いします。また、終盤苦しんだファイターズにはどんな理由があったのか？(この取材は9月9日に行われました)

さて単刀直入にお伺いしますが、終盤8月に大きな連敗が2度ほどありました。この原因というか、理由は何なのでしょう？

まあ言い方は良くないかも知れませんが、あの状況ではあんなもんでしょ。逆に去年ファームで主力になっていた選手たちが、思いのほか早く一軍へ行って、ましてや優勝争いの中に入っていたというのは、ファームとしては嬉しい誤算です。

おつしやるおと、先季抜群の成績だった吉川投手が一軍で二桁勝利したのをはじめ、今季早々と7勝を挙げた矢貫投手、フレッシュオールスターで活躍した中村投手、野手では中島選手が定着し、杉谷選手、西川選手、鶴久森選手、近藤選手など、多くの選手が一軍へ上がりましたね。

はい。その分、ファームで(選手が)抜けた形になったんで、ちょっと終盤のメンバーで進める準備は不足していたというのは言えます

ね。シーズン最初の頃はメンバーが揃っていました。その中に新人を入れて、でも3人も4人も入っていたら、かなりキツイですよ。てことは、上(一軍)の方にも伝えていました。現実には途中からそういう形になってしまつて。まあ準備不足でしたが、そこでの経験が次に生きてくればいいと思います。

近藤選手が一軍に行っている間は、捕手が荒張選手と、もう一人のルーキー大嶋選手だけになってしまいました。尾崎選手も数試合でマスクをかぶりましたが、やはり例年に比べ捕手の不足を感じました。そうすね。もうひとつ言えるのはキャッチャーが不足してしまつたということです。キャッチャーはチームの要になるので、全体に影響を及ぼすことが多い。ピッチャーも育てないといけない、そしてキャッチャーも育てないといけないというの、難しいところではありました。経験のあるキャッチャーがいると、だいぶ違うのかなあ、ということはあるかもしれません。

さて今季も、いろいろとお話をいただき、ありがとうございました。最後に、恒例となりましたファンの方々に、恒例の一言をお願いいたします。

今季はファームとして、一軍への選手供給という意味ではうまくいきました。しかしファームの勝負という点では苦しみました。これから来季に向けてもう一回、種を撒き直しますので、その芽が出てくるのを、みなさん、楽しみにしていってください。

今季、スタッフがいろいろと失礼な質問もする中で、最後まで笑顔を保ち、諭すように応えてくれた五十嵐監督には本当に感謝です。ありがとうございました。そして今季、本当におつかいさまでした。

8月度 月間MVP表彰

ファイターズ鎌ヶ谷の会選出による月間MVP表彰式が、9月9日の試合開始前に行われ、大塚投手、谷口選手の2名が、鎌ヶ谷の会プレゼンターより賞金を手渡されました。谷口選手は2ヶ月連続の受賞。9月4日に一軍登録、そして翌日9月5日東京ドームの対ゴールデンイーグルス戦で、一軍でのプロ初安打となる二塁打を含む2安打と初打点を記録しました。



★大塚投手 #14
登板10試合 0勝0敗
1セーブ 投球回10 1/3
自責点0 防御率0.00

★谷口選手 #64
出場21試合(8月全試合)
85打数31安打11打点
打率.365(10試合でマルチ安打を記録、猛打賞4回)



※谷口選手は表彰式当日、一軍登録だったため代理でカビーが賞金を受け取り、拍手を浴びました。

鎌ヶ谷発！ニュー・ヒーロー 谷口選手、一軍で初安打・初打点！



ファイターズ鎌ヶ谷の会選出の月間MVPを7月度、8月度と2ヶ月連続で受賞した谷口選手が9月5日の東京ドーム、対ゴールデンイーグルス戦で初安打、初打点を記録しました。谷口選手にその時の状況を振り返ってもらいました！

「バッティングで期待されて、(一軍に)呼ばれたと思うんですけど、初日(9月4日)に全然ダメで…。次の日も初回にいきなりチャンスで回ってきて、どうしてもランナーを還したかったんですけど、期待に応えられなくて(結果は二飛)…。もうヤバいなと思ったんですが、どうせダメなら全部振って帰ってこようぐらいに思って開き直って行きました。それが、たまたま、いい感じ(左中間二塁打)になりました。岱鋼さん(陽選手)の足のおかげもあって、打点も付きました。」
本人が全然ダメと言っている9月4日の試合では初打席で犠打を記録し、守備では八回表に、試合の流れを変えるレーザービームも披露しました。この東京ドーム2連戦は、これからもまだまだ成長が楽しみな鎌ヶ谷発のニュー・ヒーロー誕生の瞬間でした。

2012年ファイターズ鎌ヶ谷の会 活動報告

●新入団選手歓迎式典・交流会(1月)

今年も6名の新入団選手を鎌ヶ谷市に迎え、ファンとの交流会で楽しみました。



●鎌ヶ谷デー(8月)

夏休み最後の日曜日、先着1千名のお客様と、ファイターズおよび対戦チームのスワローズに鎌ヶ谷名産の梨が手渡されました。



●月間MVP表彰(3~9月)

今年も毎月、活躍した選手を表彰しました。

●会報紙「鎌スタ☆ファンズ」発行(3、5、7、8、9月)

●発行/ファイターズ鎌ヶ谷の会 広報部会

●編集/中村俊也 廣瀬良範 金井 信也 木下智恵 坂本恵理

○事務局

〒273-0118
千葉県鎌ヶ谷市中沢459
(株)北海道日本ハムファイターズ
ファイターズスタジアム内
ファイターズ鎌ヶ谷の会
☎0474(446)5586

※本紙の記事、写真、データ等の無断転載を禁止します。

【ハミダシ】

実は9月8日に取材のアポイントをいただいていた谷口選手が直前に一軍に昇格！嬉しいやら困ったやらで、てんでこ舞いのスタッフでした。少しボリュームが減ってしまったのですが、後日、無事に谷口選手からコメントもいただいて、ひと安心となったのでした。